

十津川最深部の中八人山に登る



5月5日、二上山早朝登山組のメンバー8人と共に、十津川南部最深部の山・中八人山に登った。

私も含めて全員が未踏の山である。1974年発行の奈良山岳会編「大和・青垣の山々」には「背丈以上のスス竹におおわれて見通しもきかず、登山の対象として推奨できる山ではない。ただ人の行かない山を好むアブノーマルな登山者にはおもしろい山であるかも知れない」と書かれている。

登ってみて、山の状況は今では違って、山頂付近はまば

上 南八人山山頂 (1408m) らに木々が生えているだけで、周囲の山々も見渡せ、晴天をバックに八経ヶ岳、釈迦ヶ岳、笠捨山など奥駆の峰々がくっきりと見えた。

ただ登山路は未整備で、標識もなく、針葉樹・人工林の中、急登に次ぐ急登で、林業用モノレール軌道が無かったら、相当しんどい山と言える。未踏峰の山で貴重な経験をさせてもらったが、上記の本の記述にうなずかされる山であった。

花は溪谷でヒメレンゲ、ヨゴレネコノメが、尾根筋でミツバツツジとアケボノツツジとが花を見せてくれた。



上 中八人山山頂 (1397m)

大和盆地を一望し、花の長谷寺へ 土庫病院友の会例会登山で

5月7日朝8時マイクロバスの補助席も使って26人が出発、登山口の天理市内長岳寺で、更に一人が合流。満開のツツジを堪能しながら登山道に取り付く。竜王山への登り道は針葉樹林の中の滑りやすい路なのだが、全員順調に登る。

標高586mの竜王山山頂では、快晴の空





から降り注ぐ陽光に新緑が眩しい。しかしやや強い風が大和盆地から吹き上げ、その風に身をさらしながら84歳の宮崎さんが、感慨深げに大和三山や二上山などを眺めている。

昼食後、長谷寺に向けて出発、春耕の始まった野菜畑や合鴨の養殖小屋などの間を抜け、雑木林の細道

上 竜王山頂上 をうねうねと歩いて、午後2時長谷寺着。予定通りだ。

境内ではオドリコソウ、シャガ、ホウチャクソウなどがそれぞれの花を見せ、シヤクナゲも良かったが、圧巻は絢爛豪華のボタンの花々、寺内の各所に立派な牡丹苑があつて、重厚な仏閣や立派な回廊も花を引き立てるために在るのかと思われる程。

当麻寺、石光寺など奈良には牡丹の名所が多いが、ここほどこの花のあでやかさを見せ付ける所はないと思う。



←↑ 長谷寺で

健康まつりにおいで下さい

健生会友の会主催

- 5月26日午前10時～午後3時 JR高田駅東側広場と奈良県産業会館で
- 健康チェック（体力測定、血糖値、尿検査など）
 - 歯科コーナー
 - 健康講座
 - 各種模擬店 バザー
 - 登山用品（中古）バザー
 - 山歩きクラブの模擬店も
 - 子どもの広場
 - おもちゃの病院（こわれたおもちゃの修理）
 - 阿波踊り
 - 大道芸
 - 各サークルの発表 などなど
- ◎ 参加協力券 500円（前売り300円）小学生以下無料
- ◎ お問い合わせは健生会友の会へ（0745-22-2989）